市民後見人活動報告書２－１

【市民後見人終了報告書】

報告日：令和 〇 年 〇 月 〇日

報告者（市民後見人）	登録者番号	〇〇〇〇〇〇〇
	氏　　名	成　　年　子

１、概要

報告種別	☑ 終了報告 ☐ 辞任報告	終了・辞任の年月：平成　〇　年　〇　月 理由：本人の死亡のため		
本人	性別	☑男　☐女	年齢	８０　歳代（**未成年は対象外**） 前半・後半
	判断能力の障害の種別	☑ 認知症高齢者　　☐ その他（　　） ☐ 知的障害 ☐ 精神障害		
	現在の居所	☐ 在宅　　（ひとり暮らし・家族と同居・グループホーム） ☑ 病院 ☐ 施設 ☐ その他　（　　）		
	資産・収入状況	☐ 生活保護受給世帯 ☐ 住民税非課税世帯 ☑ その他　　〇〇年金受給		
申立	申立者	☐ 本人 ☐ 親族　（　　） ☑ 市町村長　（　〇〇市　　） ☐ 家裁の職権 ☐ 法定代理人（後見人等） ☐ 任意後見人 ☐ その他　（　　）		
	鑑定書	☐ 有り ☑ なし　　☐ 不明		
審判	家裁	大　阪　　家裁　〇〇　　支部		
	審判確定年月	平成　〇　年　〇　月		
	類型	☑ 後見 ☐ 保佐 ☐ 補助		
	複数後見	☑ 無　　☐ 有り（複数後見の相手　　） （分掌有無：　　）		
	後見監督人	☑ 無　　☐ 有り　（監督人の職業：　　）		
活動費	活動費の支弁	☑ 本人の資産から支弁することが可能であった。 ☐ 被後見人等が資力に乏しく活動費の支弁が期待できなかった。 ☐ その他（具体的に：　　）		
	直近の活動費	月平均　約　２，８００　　円		
備考				

市民後見人活動報告書 2－2　　報告者氏名　成　年　子

２、終了の経緯

本人の氏名、住所地、利用施設（機関）、援助者等の氏名、所属先名称等の固有名詞は、原則として無作為のアルファベットで表記し、個人、地域、施設等が特定されることのないように記載してください。

終了・辞任の経緯	（※前回の報告時以降の終了に至る経緯を記載してください。） ご本人は、○○○○（病名や症状）により平成○年○月○日にＥ病院に入院。 ○○の治療等が行われましたが、治療の甲斐なく、平成○年○月○日に死亡されました。
終了・辞任事務の内容	（※終了事務の内容を記載してください。） Ｅ病院から連絡を受け、○○市（○○市社協）の担当者に今後の対応について相談し、まずは、相続人であるＦ氏に連絡を行い、葬儀等の意思を確認し、葬儀はＦ氏が行うことになった。Ｆ氏は、医療費等の支払いは、後見人の方で行って欲しいとのことであった。 終了にあたり以下の事務を行った。 ・家庭裁判所に連絡し、本人の死亡を報告した。 ・金融機関に連絡し口座の閉鎖を行った。 ・年金事務所に本人の死亡を連絡した。 ・病院、施設、リース業者から請求書を徴し、支払いを行った。 ・財産の清算を行い、平成○年○月○日に○○市（○○市社協）において相続人に引き渡した。 以上の事務を行うにあたり、平成○年○月○日に○○市（○○市社協）の専門相談において助言を受けた。
後任者の選任申立て（辞任の場合）	
終了事務の課題	（※終了事務を行うにあたり、スムーズに行かなかった事やこのようにしておけば良かったと思われた事があれば、記載してください。） 予めご本人の病状を相続人のＦ氏に伝えておけば、終了事務が速やかに行えたのではないかと思う。